

海外紹介

世界の鍼灸コミュニケーション (9)

—ポルトガル電気鍼協会—

Portugal Association of Electric Acupuncture

土屋光春

ポルトガル電気鍼協会会長

ポルトガル電気鍼協会 (Portugal Association of Electric Acupuncture: P.A.E.A) は、20年前に医師を中心に発足した会です。現在の会員数は62名でさらに増え続けています。

欧州において鍼灸やホメオパチ治療をしている医師が増加しているのはなぜか?。理由を聞くと「効果があるから」と当然の如く答えます。彼らはまず私達のクリニックに自分の患者を送ってきて、結果をみて統計をとり、効果有りとわかるとすぐに勉強を始めます。ますます鍼灸やホメオパチの医師人口が増加するわけです。

私が医師達に教える時は、決して難しく教えません。まずは、痛いところがツボと導きます。経絡を確かめ合いながら真剣にツボ探しをしている老若男女の医師達をみているとなんとも微笑ましい風景です。私の所を修了してからの医師達の鍼

灸治療の結果は目ざましいものがあるようです。最近では、オランダ、ベルギー、イギリスなど欧州諸国から医師が勉強に加わっています。

また、1979年に鍼治療のあとにコーチゾンが増加しているのを確認しました。アトピー性皮膚炎の患者を治療しているときでした。完治するまで3年近くかかったでしょうか。この時は、日本の元T大麻酔科外来医長のW先生に大変お世話になりました。毎週、日本と電話で報告のやりとりをしました。また、P.A.E.Aの会員の一人である国立サン・ジョゼ病院血液検査局長のDr.ルイザの熱心な協力がなかったら電気鍼によるコーチゾン増加は見出すことができなかったと思います。

IgG・IgE免疫が全く3年前と変わらず、アトピー性皮膚炎が完治したことは注目すべきことであり、このことはその後の私の研究基盤の礎とな



っています。

1989年には、WFAS（世界鍼灸学会連合会）に入会することができました。これによりP.A.E.A会員の医師の質、量がますます高くなり、国立病院等や体育省で全面的に鍼灸やホメオパチと柔整セラピーの勉強に取り組むようになったことは、実に嬉しい驚きであります。

また、欧州からみていると、中国はどんな小さい会でも世界に通知をし「習いにいらっしゃい」と呼びかけをしているのに、日本の東洋医学は高い水準のすばらしいことを行っているにもかかわらず、呼びかけをしないで日本人の中だけで行っているようにみえることは、非常に残念なことです。日本語版と英語版を常に出していただき、我々ならびに世界の医師が日本の高い水準の勉強に参加できるように望んでいるということをお伝えします。日本の今後の世界的な活動に期待をしています。

1997年現在まで、様々な足跡を残しながらやってまいりました。長きに渡り、ご指導いただいています日本の諸先生方のお蔭で現状があるということに海の彼方から多大なる感謝の意を表します。

連絡先：

Tsuchiya Mitsuharu
Associacao Portuguesa de Acupuncture Electrica
Rua Dona Estefania No. 47-1
1000 Lisboa Portugal

tel : +351-1-315-1677

+351-1-315-1409

fax : +351-1-315-1409

追記：

ポルトガルの鍼灸事情をP.A.E.A会長の土屋光春先生に伝えていただきました。

土屋先生は、若い頃、日本の商社マンとしてポルトガルの地に渡りましたが、特技である格闘技を普及することに情熱を注ぎ、後に鍼灸にも興味をもち、(格闘技のみならず)鍼灸をもポルトガルの地に根付かせたいと尽力されてこられました。

現在、P.A.E.AはWFASの会員組織です。会長を務める土屋先生のリードで、ポルトガルの鍼灸がますます発展することを願っています。

(社)全日本鍼灸学会理事・国際部委員 形井秀一)